

教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考え方などを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

学年の目標

- ・ゆっくりはっきりと話されれば、身近な問題や社会的な話題、少し長めの議論について、概要や要点を聞き取ることができる。
- ・まとまった量の物語文や説明文などを読んで、その概要や要点を理解するとともに、自分の意見をもって読むことができる。
- ・身近な問題や社会的な話題について、自分なりの根拠を明らかにして、相手と討論やディスカッションをすることができる。
- ・身近な問題や社会的な話題について、自分の意見や主張をまとめ、詳しく話すことができる。
- ・自分にかかわりのある出来事や空想の物語をまとまりのある英文で書くことができる。

【略号】 P=Part, SO=Starting Out, Pre=Preview, S=Story, MA=Mini Activity, SA=Stage Activity
 【使用領域】 L=聞くこと, R=読むこと, SI=話すこと[やり取り], SP=話すこと[発表], W=書くこと

評価の観点

月(3学期制)	単元と目標 ※ ■ は関連のある他教科を示します。	ページ	時数		各時の目標例	文法事項・表現 (◆は主な復習事項)	使用領域とその評価の観点例			評価規準例 (知 知識・技能 / 思 思考・判断・表現 / 態 主体的に学習に取り組む態度) 主体的に学習に取り組む態度	言語の使用 場面 ★話題・テーマ 工夫 (ストラテジー)
			単元	パート			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4	学び方コーナー Unit 0 Discover a New Side of Classmates	4-5 6-7		2	クラスメートの新しい一面を知るために、最近夢中になっていることやよくすること、その理由などについて伝え合うことができる。	◆既習事項の復習	L・R・SI・W	L・R・SI・W	L・R・SI・W	[知] [知識] 現在形や過去形、because などを用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・W) [技能] 現在形や過去形、because などを用いた文の理解をもとに、最近夢中になっていることやよくすること、その理由などについて伝え合う技能を身につけている。(L・R・SI・W) [思] クラスメートの新しい一面を知るために、最近夢中になっていることやよくすること、その理由などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。(L・R・SI・W) [態] クラスメートの新しい一面を知るために、最近夢中になっていることやよくすること、その理由などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。(L・R・SI・W)	●教室 ★最近夢中になっていること ▼報告する ▼理由を述べる ▼質問する、答える
	Unit 1 What is special about Japanese pop culture? 題材 日本のポップカルチャーについての理解を深め、日本文化が持つ魅力について考える。 活動 日本のポップカルチャーの魅力について、経験や感想と共に伝えることができる。	9-16	8	1 2 2	P1 自分のことを知ってもらったりだれかのことを知るために、これまでの経験について理解したり伝えたりすることができる。 P2 おたがいのことをよりよく知るために、これまでの経験についてたずねたり、相手からの質問に答えたりすることができる。 RT1 日本のアニメが世界で愛されている理由を知るために、アニメの魅力について書かれた文章の概要を捉えることができる。 RT2 日本のポップカルチャーについて理解を深めるために、アニメとマンガなどの日本の伝統文化との関係について書かれた文章の概要や要点を捉えることができる。	現在完了形(経験用法、平叙文) 現在完了形(経験用法、疑問文) SVOC(C=形容詞) SVOO(that節)	R・SI	R・SP・W	R・SI・W	[知] [知識] 現在完了形(経験用法)を用いた文、SVOC(C=形容詞)、SVOO(that節)の文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・W) [技能] 現在完了形(経験用法)を用いた文、SVOC(C=形容詞)、SVOO(that節)の文の理解をもとに、経験や人の気持ちや状態の変化、人やものが私たちに伝えることについて伝え合う技能を身につけている。(L・R・SI・W) [思] 海外の人に日本に興味を持ってもらうために、日本のポップカルチャーの魅力について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。(R・SI・SP・W) [態] 海外の人に日本に興味を持ってもらうために、日本のポップカルチャーの魅力について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。(R・SI・SP・W)	●アンケート ★日本文化 ▼質問する、答える ●教室 ★日本のポップカルチャー ▼感想を述べる ▼相づちを打つ ●インターネット ▼紹介する、説明する ★アニメ
							R・SI・W	R・W	R・W	●スピーチ ★伝統文化とポップカルチャー ▼発表する ▼紹介する、説明する	

月(3学期制)	単元と目標 ※ ■ は関連のある他教科を示します。	ページ	時数		各時の目標例	文法事項・表現 (◆は主な復習事項)	使用領域とその評価の観点例			評価規準例 (知) 知識・技能 / (思) 思考・判断・表現 / (態) 主体的に学習に取り組む態度 (主体的に学習に取り組む態度)	言語の使用 場面 ★話題・テーマ マ (ストラテジー)	
			単元	パート			パート名	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度
	Real Life English 2 講演 □社会的な話題に関する講演を聞き、話し手の伝えたい内容を理解することができる。	27	1		社会的な話題に関する講演を聞き、話し手の伝えたい内容を理解することができる。 ◆現在完了形、現在完了進行形	L・W	L・W	L・W	(知) [知識]講演を聞くときのポイントを理解している。(L・W) [技能]講演を聞くときのポイントの理解をもとに、話し手の伝えたい内容を聞き取る技能を身につけている。(L・W) (思)話し手の伝えたい内容を理解してまとめることができるように、社会的な話題についての講演を聞いて要点を捉えている。(L・W) (態)話し手の伝えたい内容を理解してまとめることができるように、社会的な話題についての講演を聞いて要点を捉えようとしている。(L・W)	●英語の講演 ●説明する ★フードマイル、●話し手のい 食品ロス ●ちばん伝えたいこと(要点)を聞き取る		
	Grammar for Communication 1	28-29	1		現在完了形、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。 ◆現在完了形、現在完了進行形				(知) [知識]現在完了形、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能]現在完了形や現在完了進行形を用いて、これまでの経験や、過去から現在へとつながる状態や動作を伝える技能を身につけている。			
6	Unit 3 How can we save animals? 題材 絶滅のおそれのある動物について知り、自分たちができることを考える。 活動 絶滅のおそれのある動物について知り、大切なことや取るべき行動について伝えることができる。	31-38	8	1	P1	私たちににとって大切なことを考えるために、絶滅のおそれのある動物について書かれた文章の概要を捉えたり、自分の考えを伝え合ったりすることができる。	It is ... (for+(人など))+to	R・SI	SP	SP	(知) [知識] <It is ... (for+(人など))+to>の文、<want+(人など)+to>や<let [help]+(人など)+動詞の原形>を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI) [技能] <It is ... (for+(人など))+to>の文、<want+(人など)+to>や<let [help]+(人など)+動詞の原形>を用いた文の理解をもとに、人にとって大切だと思うことや、人にしてほしいことなどについて伝え合う技能を身につけている。(L・R・SI)	●ポスター ●紹介する、 ★絶滅のおそれのある動物
1	P2			だれもにしてほしいことを伝えるために、絶滅のおそれのある動物などについて書かれた文章を理解したり、伝え合ったりすることができる。	want+(人など)+to	L・R・SI	SI	SI	(思) 多くの人に絶滅のおそれのある動物の現状を知ってもらうために、減少の主な原因やその動物を守るために必要だと思うことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて記事を書いている。(R・SI・SP・W) (態) 多くの人に絶滅のおそれのある動物の現状を知ってもらうために、減少の主な原因やその動物を守るために必要だと思うことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて記事を書こうとしている。(R・SI・SP・W)	●教室 ●質問する、 ★絶滅のおそれのある動物 ●答える ●説明する ●さそう、提案する ●賛成する		
2	RT1			世界の絶滅のおそれのある動物の状況について知るために、ラッコについて書かれた文章を読んで概要を捉えたり、自分の考えを伝えたりすることができる。	let [help]+(人など)+動詞の原形	R・SI	R・SP・W	R・SP・W		●学級新聞の記事 ●紹介する、 ★ラッコ ●説明する		
2	RT2			環境と私たちの生活について考えるために、絶滅のおそれのあるイリオモテヤマネコについて書かれた文章を読んで、概要を捉えたり、私たちが取るべき行動について意見交換をしたりすることができる。	◆It is ... (for+(人など))+to、 let [help]+(人など)+動詞の原形	R	R・SP・W	R・SP・W		●学級新聞の記事 ●紹介する、 ★イリオモテヤマネコ、生態系 ●訴える		
					2	UA	多くの人に絶滅のおそれのある動物の現状を知ってもらうために、減少の主な原因やその動物を守るために必要だと思うことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理して記事を書くことができる。			SI・W	SI・W	●記事 ●説明する ★絶滅危惧種 ●意見を言う ●訴える

月(3学期制)	単元と目標 ※ ■ は関連のある他教科を示します。	ページ	時数		パート名	各時の目標例	文法事項・表現 (◆は主な復習事項)	使用領域とその評価の観点例			評価規準例 (知) 知識・技能 / (思) 思考・判断・表現 / (態) 主体的に学習に取り組む態度 (主) 主体的に学習に取り組む態度	言語の使用 場面 ★話題・テーマ マ (ストラテジー)	
			単元	パート				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
													知
	Real Life English 3 グラフや表の活用 □資料から読み取った情報について、事実と意見をわけて書くことができる。	39	1			資料から読み取った情報について、事実と意見をわけて書くことができる。	The graph shows ...	R	R・W	R・W		(知) [知識] 事実や意見を書くときの基本的な構成や表現を理解している。(R) [技能] 事実や意見を書くときの基本的な構成や表現の理解をもとに、資料から事実と意見を区別して読み取る技能を身につけている。(R) (思) 日本国内の絶滅のおそれのある動物について感想や意見をまとめるために、資料から読み取った情報について事実と意見を整理し、まとまりのあるレポートを書いている。(R・W) (態) 日本国内の絶滅のおそれのある動物について感想や意見をまとめるために、資料から読み取った情報について事実と意見を整理し、まとまりのあるレポートを書こうとしている。(R・W)	●レポート ●説明する ★トキの個体 ●意見を言う 数、日本の絶 ●事実と意見 滅危惧種 をわけて書く
	Learning Science in English 理科	40	1			生態系に起こっている問題を知るために、日本に住むシカの数について書かれた文章の概要を読み取ったり、食物連鎖について説明したりして、自分の考えを述べることができる。	◆受け身、現在完了形、現在完了進行形	R・SP	SP	SP		(知) [知識] 生態系や食物連鎖に関する語句の意味や働きを理解している。(R・SP) [技能] 生態系や食物連鎖に関する語句の理解をもとに、生態系に起こっている問題について自分の考えを述べる技能を身につけている。(R・SP) (思) 生態系に起こっている問題を知るために、日本に住むシカの数について書かれた文章の概要を読み取ったり、食物連鎖について説明したりして、自分の考えを述べている。(SP) (態) 生態系に起こっている問題を知るために、日本に住むシカの数について書かれた文章の概要を読み取ったり、食物連鎖について説明したりして、自分の考えを述べようとしている。(SP)	★食物連鎖、生態系 ●説明する ●意見を言う
	Grammar for Communication 2	41	1			不定詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	◆不定詞					(知) [知識] 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能] 不定詞を用いて、人にしてほしいことや、人にとって大切なことなどを伝える技能を身につけている。	
7	Stage Activity 1 Discover Japan □日本や郷土の文化などについて、詳しい情報を加えて説明することができる。	42-45	4			海外の人に日本の魅力を知ってもらうために、日本や郷土の文化などについて、詳しい情報を加えて説明することができる。	◆既習事項の総復習	L・R・SI・SP・W	L・R・SI・SP・W	L・R・SI・SP・W		(知) [知識] Unit 3 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) [技能] Unit 3 までの学習事項を用いて、日本や郷土の文化などについて、詳しい情報を加えて説明する技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W) (思) 日本の魅力を知ってもらうために、日本や郷土の文化などの情報を整理して、日本文化を紹介するパンフレットを書いて説明したり、感想をたずね合ったりしている。(L・R・SI・SP・W) (態) 日本の魅力を知ってもらうために、日本や郷土の文化などの情報を整理して、日本文化を紹介するパンフレットを書いて説明したり、感想をたずね合ったりしようとしている。(L・R・SI・SP・W)	●ビデオレター ●紹介する ●パンフレット ●説明する ★日本文化(風 ●意見を言う 呂敷)
	Let's Read 1 A Mother's Lullaby □物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解し、気持ちをこめて音読することができる。	46-49	4			物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解し、気持ちをこめて音読することができる。	◆既習事項の総復習	R	R	R		(知) [知識] 場面や人物の心情を表す表現を理解している。(R) [技能] 場面や人物の心情を表す表現の理解をもとに、物語の流れに沿って場面の変化や登場人物の心情を読み取る技能を身につけている。(R) (思) 気持ちをこめて音読することができるように、背景知識を使い、物語の流れに沿った場面の変化や登場人物の心情が書かれた文章の概要を捉えている。(R) (態) 気持ちをこめて音読することができるように、背景知識を使い、物語の流れに沿った場面の変化や登場人物の心情が書かれた文章の概要を捉えようとしている。(R)	●物語、スピーチ ●描写する ●説明する ★平和 ★バラク・オバマ
9	Unit 4 How can we help each other in a disaster? 題材 防災・安全への関心を高め、地域の一員として防災に取り組む意識を持つ。	51-58	8	1	P1	防災への意識を高めるために、外国人市民意識調査の結果について書かれた文章の要点を捉えたり伝えたりすることができる。	間接疑問文	R・SI	SP	SP		(知) [知識] 間接疑問文と SVOO(what 節)の文、現在分詞・過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP) [技能] 間接疑問文と SVOO(what 節)の文、現在分詞・過去分詞を用いた文の理解をもとに、何かを知っていると伝えたり、言葉に情報を加えたりして、事実や気持ちを話す技能を身につけている。(L・R・	●外国人市民 ●質問する、 意識調査と結答える 果 ★防災

月(3学期制)	単元と目標 ※ ■ は関連のある他教科を示します。	ページ	時数		各時の目標例	文法事項・表現 (◆は主な復習事項)	使用領域とその評価の観点例			評価規準例 (知) 知識・技能 / (思) 思考・判断・表現 / (態) 主体的に学習に取り組む態度 (主體的に学習に取り組む態度)	言語の使用 場面 ★話題・テーマ マ (ストラテジー)	
			単元	パート			主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現			主體的に学習に取り組む態度
	活動 防災・安全への意識を高め、地域の一員として取るべき行動を考えて伝え合うことができる。		1	P2	防災への意識を高め具体的な行動を取るために、どのような備えをしておくべきかなどについて伝え合うことができる。	SVOO(what節)	L・R・SP	SI	SI	SI・SP) (思) 防災・安全への意識を高めるために、地域の一員としての防災への取り組みについてどんな助け合いができるか、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。(R・SI・SP・W) (態) 防災・安全への意識を高めるために、地域の一員としての防災への取り組みについてどんな助け合いができるか、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。(R・SI・SP・W)	●教室 ●質問する、 ★家庭での災害 答える 対策 ●説明する ▼さそう、提案する	
			4	RT1 RT2	地域が一丸となって支え合い、災害に備えることの大切さを知るために、テイラーさんとテイラー文庫について書かれた文章の概要と要点を捉えたり、自分の考えや感想を書いたりすることができる。	過去分詞、現在分詞	R・SI	R・W	R・W		●レポート ●紹介する、 ★東日本大震災 説明する 災、 ●描写する テイラー・アン ●時系列で ダーソン 情報を整理する	
			2	UA	防災・安全への意識を高めるために、地域の一員としての防災への取り組みについてどんな助け合いができるか、事実や自分の考え、気持ちなどを整理して話したり書いたりすることができる。				SI・SP・W	SI・SP・W	●教室 ●発表する ★防災	
	Real Life English 4 町中での手助け □相手の立場に立って、具体的な提案をしながら申し出たり応じたりすることができる。	59	1		相手の立場に立って、具体的な提案をしながら申し出たり応じたりすることができる。	Can I help you? Shall I ...? Would you like me to ...? ◆間接疑問文	SI	SI	SI	(知) [知識] 手助けを申し出る表現の意味や働きを理解している。(SI) [技能] 手助けを申し出る表現の理解をもとに、困っている相手に言葉をかけたり、具体的な提案をしたりする技能を身につけている。(SI) (思) 困っている相手に対して状況に合った手助けができるように、相手の立場に立った具体的な提案を申し出たり、相手からの質問に答えたりしている。(SI) (態) 困っている相手に対して状況に合った手助けができるように、相手の立場に立った具体的な提案を申し出たり、相手からの質問に答えたりしようとしている。(SI)	●町中 ●申し出る ★外国人の手助け 質問する、 け 答える ▼礼を言う ●相手に合った表現を選ぶ	
	Learning Art in English 美術	60	1		絵が持つ力について考えるために、世界中に壁画を残す活動についての感想を伝え合うことができる。		R・SI	R・SI	R・SI	(知) [知識] 芸術や絵画についての語句の意味や働きを理解している。(R・SI) [技能] 芸術や絵画についての語句の理解をもとに、絵が持つ力について伝え合う技能を身につけている。(R・SI) (思) 絵が持つ力について考えるために、世界中に壁画を残す活動について、情報と考えを整理して感想を伝え合っている。(R・SI) (態) 絵が持つ力について考えるために、世界中に壁画を残す活動について、情報と考えを整理して感想を伝え合おうとしている。(R・SI)	★Over the Wall ●描写する プロジェクト	
10	Unit 5 What makes a good leader? 題材 ガンディーの功績を知り、平和や人権の大切さを考える。 活動 ガンディーの功績を知り、平和や人権の意味について考えることができる。	61-68	8	1	どのような人やものかを理解したり伝えたりするために、情報を加えて、人やものについて説明したり、伝え合ったりすることができる。	名詞を修飾する文(接触節)	L・R・SI	SP	SP	(知) [知識] 名詞を修飾する文と、関係代名詞 who, that [which] (主格・目的格)を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP) [技能] 名詞を修飾する文と、関係代名詞 who, that [which] (主格・目的格)を用いた文の理解をもとに、詳しい情報を加えて、どのような人か、どのようなものを話す技能を身につけている。(L・R・SI・SP)	●スピーチ ●発表する ★ガンディー ●紹介する、 説明する	
			1	P2	どのような人かを理解したり伝えたりするために、情報を加えて説明したり、伝え合ったりすることができる。	関係代名詞 who	L・R・SP	SI	SI	(思) 理想のリーダーとはどのような人かを伝えるために、理想のリーダーであるための情報について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。(R・SI・SP・W) (態) 理想のリーダーとはどのような人かを伝えるために、	●教室 ●褒める ★ガンディー ●繰り返す ▼相づちを打つ	

月(3学期制)	単元と目標 ※ は関連のある他教科を示します。	ページ	時数		各時の目標例	文法事項・表現 (◆は主な復習事項)	使用領域とその評価の観点例			評価規準例 (知) 知識・技能 / (思) 思考・判断・表現 / (態) 主体的に学習に取り組む態度 (主體的に学習に取り組む態度)	言語の使用 場面 ★話題・テーマ マ (ストラテジー)	
			単元	パート			パート名	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度
			4	RT1 RT2	平和や人権の大切さを考えるために、ガンディーの生涯と功績について書かれた文章の概要を捉えたり、時間軸に沿って事実を説明したりすることができる。	関係代名詞 that [which] (主格・目的格)	R・SI	R・W	R・W	理想のリーダーであるための情報について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。(R・SI・SP・W)	●伝記 ●紹介する、 ★ガンディー ●説明する	
			2	UA	理想のリーダーとどのような人かを伝えるために、理想のリーダーであるための情報について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理して話したり書いたりすることができる。			SP・W	SP・W		★理想のリーダー ●紹介する、 一 ●発表する ●質問する ●感想を述べる	
	Real Life English 5 記事への意見 □社会的な話題について、理由や根拠を含めて自分の意見を書くことができる。	69	1		社会的な話題について、理由や根拠を含めて自分の意見を書くことができる。	I (do not) think ... I have two reasons. First, ... Second, ...	R・W	R・W	R・W	知 [知識] 自分の意見とその理由や根拠を書くための基本的な構成や表現を理解している。(R・W) [技能] 自分の意見とその理由や根拠を書くための基本的な構成や表現の理解をもとに、社会的な話題に関する英文を読んで、理由や根拠を読み取る技能を身につけている。(R・W) 思 社会的な話題に関する英文について意見を伝えられるように、賛成か反対か自分の立場を決めて、その理由や根拠を整理し、投稿文を書いている。(R・W) 態 社会的な話題に関する英文について意見を伝えられるように、賛成か反対か自分の立場を決めて、その理由や根拠を整理し、投稿文を書こうとしている。(R・W)	●英語雑誌の記事 ●説明する ●意見を言う ★歩きスマホに 関する法律	
	Grammar for Communication 3	70-71	1		後置修飾を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	◆後置修飾				知 [知識] 後置修飾を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能] 後置修飾を用いて、情報を加えて説明する技能を身につけている。		
	Stage Activity 2 My Activity Report □これまでの経験をふり返って活動報告を発表することができる。	72-75	4		自分のことをよりよく知ってもらうために、これまでの経験をふり返って活動報告を発表することができる。	◆既習事項の総復習	L・R・SI・SP・W	L・R・SI・SP・W	L・R・SI・SP・W	知 [知識] Unit 5までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) [技能] Unit 5までの学習事項を用いて、これまでの経験をふり返って活動報告をする技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W) 思 自分のことをよりよく知ってもらうために、部活動や委員会などの活動について、活動報告の構成を理解したうえで、自分の経験や感想などを即興で話したり、まとまりのある文章を書いて発表したりしている。(L・R・SI・SP・W) 態 自分のことをよりよく知ってもらうために、部活動や委員会などの活動について、活動報告の構成を理解したうえで、自分の経験や感想などを即興で話したり、まとまりのある文章を書いて発表したりしようとしている。(L・R・SI・SP・W)	●ビデオレター ●発表する ●活動報告のス ●質問する、 ピーチ ●答える ★部活動や委 ●声、視線、 員会・係など ●身振り、掲示 の活動 ●物などを工夫 して発表する	
11	Unit 6 What does it mean to be a global citizen? 題材 国をこえて助け合うことの大切さを知り、自分に何が できるのかを考える。 活動 国をこえて助け合うことの大切さを知り、願いや思いを伝えることができる。	77-84	8	1 P1	世界の子供たちの状況や気持ちを理解するために、現実とは異なる願いについて書かれた文を理解したり、自分の願いを伝えたりすることができる。	仮定法 (I wish I could [had])	R・SI	SP	SP	知 [知識] 仮定法と主語を説明する関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI) [技能] 仮定法と主語を説明する関係代名詞を用いた文の理解をもとに、現実とは異なる願い事やできたらいいと思うことを伝え合う技能を身につけている。(L・R・SI) 思 国を超えて助け合うことの大切さについて考えるために、地球市民としての抱負について、事実や自分の願い、思いを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合っている。(R・SI・SP・W) 態 国を超えて助け合うことの大切さについて考えるために、地球市民としての抱負について、事実や自分の願い、思いを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合おうとしている。(R・SI・SP・W)	●キャンペーン ●仮定する の広告 ●紹介する、 ★学校用品やラ ●説明する ンドセルの寄 ●説明する 付 ●仮定する ●相づちを打 つ	
			1	P2	国をこえて助け合いたいという気持ちを伝えるために、できたらいいと思うことを伝え合うことができる。	仮定法 (If + 主語 + were ..., ~.)	L・R・SI	SI・SP	SI・SP			

月(3学期制)	単元と目標 ※ は関連のある他教科を示します。	ページ	時数		各時の目標例	文法事項・表現 (◆は主な復習事項)	使用領域とその評価の観点例			評価規準例 (知) 知識・技能 / (思) 思考・判断・表現 / (態) 主体的に学習に取り組む態度	言語の使用場面 ★話題・テーマ マ (工夫(ストラテジー))	
			単元	パート			パート名	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度
			4	RT1 RT2	国をこえて助け合うことの大切さを理解したり伝えたりするために、国際社会の状況について書かれた文章の概要や要点を捉えたり、意見や感想を伝えたりすることができる。	仮定法 (If+主語+動詞の過去形, ...) 主語を説明する関係代名詞	R・SI	R・SI・SP	R・SI・SP		●スピーチ ★国際協力	▼発表する ▼仮定する ▼説明する ▼感想を述べる
			2	UA	国を超えて助け合うことの大切さについて考えるために、地球市民の1人としての抱負について伝え合うことができる。			SP・W	SP・W		★地球市民	▼仮定する ▼説明する ▼意見を言う
	Real Life English 6 テレビの国際ニュース □ニュースなどのテレビ番組の音声を聞いて、概要や要点を理解することができる。	85	1		ニュースなどのテレビ番組の音声を聞いて、概要や要点を理解することができる。	◆現在分詞、過去分詞	L・SP	L・SP	L・SP	知 [知識] 未知語への対応などニュースの聞き取り方を理解している。(L・SP) [技能] 未知語への対応などニュースの聞き取り方の理解をもとに、ニュースなどのテレビ番組の音声を聞いて内容を聞き取る技能を身につけている。(L・SP) 思 自分の言葉で説明できるように、ニュースなどのテレビ番組の音声を聞いて、概要や要点を捉えている。(L・SP) 態 自分の言葉で説明できるように、ニュースなどのテレビ番組の音声を聞いて、概要や要点を捉ようとしている。(L・SP)	●ニュース ★首脳会談、インド	▼伝える、報告する ▼紹介する、説明する
	Learning Social Studies in English 社会	86	1		世界の現状について理解するために、世界を人口100人の村だと仮定して、自分の感想や考えを伝えることができる。	◆仮定法	L・W	SP	SP	知 [知識] 世界の現状について知るための語句の意味や働きを理解している。(L・W) [技能] 世界の現状について知るための語句の理解をもとに、聞いた内容を伝える英文を書く技能を身につけている。(L・W) 思 世界の現状について理解するために、世界を人口100人の村だと仮定して、聞き取れた内容を整理し、自分の感想や考えをまとめて話している。(SP) 態 世界の現状について理解するために、世界を人口100人の村だと仮定して、聞き取れた内容を整理し、自分の感想や考えをまとめて話そうとしている。(SP)	★世界の現状 (出身地、言語、年齢、読み書きの能力)	▼仮定する ▼説明する ▼感想を述べる
	Grammar for Communication 4	87	1		仮定法を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	◆仮定法				知 [知識] 仮定法を用いた文の形・意味・用法を理解している。 [技能] 仮定法を用いて、現実とは異なる願いや仮定の話伝える技能を身につけている。		
12	Stage Activity 3 Let's Have a Mini Debate □主張とその理由を明確にしなから、ミニディベートをすることができる。	88-91	4		物事を論理的・多面的に考えて説得力のある主張ができるようになるために、主張とその理由を明確にしなから、ミニディベートをすることができる。	◆既習事項の総復習 Word Room (ディベートで使える表現、ディベートの論題)	L・R・SI・SP・W	L・R・SI・SP・W	L・R・SI・SP・W	知 [知識] Unit 6 までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。(L・R・SI・SP・W) [技能] Unit 6 までの学習事項を用いて、ある論題について賛成・反対の立場を決めて、主張とその理由を明確にしなから、意見を伝え合う技能を身につけている。(L・R・SI・SP・W) 思 物事を論理的・多面的に考えて説得力のある主張ができるようになるために、社会的な話題について書かれた文章を参考に、賛成・反対の立場を決めてグループでミニディベートを行い、論点に沿った主張をしている。(L・R・SI・SP・W) 態 物事を論理的・多面的に考えて説得力のある主張ができるようになるために、社会的な話題について書かれた文章を参考に、賛成・反対の立場を決めてグループでミニディベートを行い、論点に沿った主張しようとしている。(L・R・SI・SP・W)	●ミニディベート ★日本に住むの により国か	▼意見を言う ▼賛成する ▼反対する ▼司会進行する ▼メモを取って質問や反論につなげる

月(3学期制)	単元と目標 ※ は関連のある他教科を示します。	ページ	時数		各時の目標例	文法事項・表現 (◆は主な復習事項)	使用領域とその評価の観点例			評価規準例 (知 知識・技能 / 思 思考・判断・表現 / 態 主体的に学習に取り組む態度) ●言語の使用 ▼言語の働き ★話題・テーマ □工夫 (ストラテジー)	
			単元	パート			パート名	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
1	Let's Read 2 Power Your Future □エネルギー問題に関する説明文を読んで、概要を理解し、自分の考えや意見を述べる ことができる。	92-95	4		エネルギー問題に関する説明文を読んで、概要を理解し、自分の考えや意見を述べる ことができる。	◆既習事項の総復習	R	R・SP	R・SP	[知識] 長所と短所を比較して述べる文章の構成を理解している。(R) [技能] 長所と短所を比較して述べる文章の構成の理解をもとに、エネルギー問題について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。(R) [思] 自分の考えや意見を述べるように、さまざまなエネルギー問題について書かれた説明文の概要を捉えている。(R・SP) [態] 自分の考えや意見を述べるように、さまざまなエネルギー問題について書かれた説明文の概要を捉えようとしている。(R・SP)	●説明文 ▼説明する ★エネルギー問題 ▼描写する
2	Let's Read 3 Coloring Outside the Lines □伝記を読んで、人物の歩みや功績を読み取り、自分の感想を述べる ことができる。	96-100	4		伝記を読んで、人物の歩みや功績を読み取り、自分の感想を述べる ことができる。	◆既習事項の総復習	R	R・SI・W	R・SI・W	[知識] 人物について書かれた伝記の文章構成を理解している。(R) [技能] 人物について書かれた伝記の文章構成の理解をもとに、その人物の歩みと功績を読み取る技能を身につけている。(R) [思] 自分の感想を述べるように、エリック・カールについて書かれた伝記を読んで、その歩みや功績と、彼の絵本にこめられたメッセージを読み取っている。(R・SI・W) [態] 自分の感想を述べるように、エリック・カールについて書かれた伝記を読んで、その歩みや功績と、彼の絵本にこめられたメッセージを読み取ろうとしている。(R・SI・W)	●伝記 ▼説明する ★エリック・カールのメッセージ ▼描写する

計 88 時間

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	パフォーマンステスト ペーパーテスト	パフォーマンステスト ペーパーテスト ペアやグループでの話し合い 発表と質疑応答	振り返りシート ノート 行動観察

学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> 先生や仲間の話、発言を集中して聞きましょう。 ペアやグループ活動、アクティビティなどに積極的に取り組み、英語を使う回数を増やしましょう。 音源の発音・スピードに近づけるように音読しましょう。 わからないときは、まず自分で考えてみましょう。考えてもわからないときは、ペアやグループの仲間にたずねましょう。わからないままにしないようにしましょう。 予習(ノートに単語調べや、音読など)、復習(授業の復習、音読、何度も書いて覚える、ワークブックなど)の習慣をつけましょう。 後で振り返って理解できるように、ノート作りを工夫しましょう。 その日の授業でわかったことや気づいたことを振り返り、次の授業や活動につなげましょう。
--------	---